

産業建設

8月18日 協議会開催

平成27年度から10年間で、都市計画課が管理する公園と施設の長寿命化計画を策定した。

Q 策定の背景は。

A 現状の機能を長期的に発揮し、維持管理予算の縮減などをおこなうため、対象とする公園と施設数は。

A 16公園、738施設。

Q 施設の健全度判定の基準は。

A 劣化や損傷状況により4段階に分類し、今後モ利用を続けるためおこなう。

平成25年度の清掃事業実績

563人の人口増に対し、

公園施設 長寿命化計画

Q ごみ総排出量は1万76トで、1人当たり6g減少した。

Q 生活系と事業系ごみの排出量は。

A 前年度に比べ生活系ごみ61ト増、事業系ごみ7トの減。

Q 粗大ごみの回収内容は。

A 搬入人数は1万655人、450トで前年度より43%の増。

Q 町民総参加クリーン運動の実績は。

A 平成25年度2回の実績は、5295kgであり区長会に示していきたい。



幸田文化公園

中央クリーンセンター など視察

7月18日 現地視察

岡崎市中央クリーンセンターなど15カ所の現況の視察をおこなった。

中央クリーンセンター

・可燃ごみを処理している焼却場。
・処理能力は380ト/日を焼却。

・施設の特徴はガス化炉と高温溶融炉を一体化し余熱利用により発電。



占部川遊水地（岡崎市）

占部川遊水地

・ 占部川に合流している占部川遊水地。
・ 遊水地の概要および規模は、面積3.7ha・貯留量7万8000m³。豪雨の時、溢れた水を一時的に貯留する。

その他、急斜地崩壊対策工事、土地区画整理事業、河川改修などを視察。

文教福祉

8月11日 協議会開催

質の高い幼児期の学校教育・保育の提供、保育・教育の量的・質的改善、子育て支援の充実の3つを目的とした新制度が、平成27年4月から始まる予定。

Q 新制度の特徴は。

A 民間の小規模保育（定員6〜19人以下）や事業所内保育（地域の児童の受入れ）などが加わる。

Q 新たに始まる子育て支援は。

A 病児・病後児を病院や保育所に専用スペースを設け、看護師などが一時的に保育するものであり、検討したい。

また、保護者世帯の所得に応じ、教育・保育に係る費用を助成する。

子ども・子育て支援新制度



保育園楽しいよ（坂崎保育園）

高齢者肺炎球菌

予防接種始まる

10月から定期接種になる。対象者には、接種券が郵送される。

Q 自己負担の費用は。

A 1人2000円。

Q 希望者は接種可能か。

A 過去の接種から5年以上経過していれば対象となる。

総合福祉センターなどを視察

6月30日・7月1日、静岡県伊東市、牧之原市、神奈川県座間市を視察した。

伊東市
新保健福祉施設

整備基本構想
老朽化した保健福祉センターに代る施設を企画。子育て支援から高齢者福祉・介護予防、三世代交流の促進、防災拠点などの多機能

集約型が特長。市の中心に建設予定で、意欲的な構想。

座間市

総合福祉センター
コンセプトは、市民の福祉を図る総合的な施設。在宅福祉、療育訓練、市民交流、地域福祉活動などの施設と社会福祉協議会が一体となった運営・管理。福祉のワンストップサービス

すが実践されている。

牧之原市

牧之原市史料館
相良城本丸跡に建つ史料館で、大屋根に白壁の特徴ある外観。1階が展示場、2階が多目的ホールで、田沼意次藩主に関する物を展示。学芸員が常駐し、展示計画にもとづき、リピーターの確保に工夫している。



総合福祉センター

島原市との交流

総務

8月19日 協議会開催

今年、島原城天守閣復元50周年記念事業として「深溝本光寺宝物展」「松平家歴史ゆかりのサミット」を、島原市で開催するため、本町も参加する。

期日 10月10・11日

参加市町は、幸田町、大分県豊後高田市、京都府福知山市。

幸田町からの参加者は、町長をはじめ職員4人、町議会議長、三河万歳保存会5人。



松平家歴史ゆかりのサミット in 島原

Q 宝物展に出展予定品は、本光寺と島原市で調整中である。

Q 消防水利設置の現況

Q 消火栓、防火水槽の点検は。

A ポンプ車で年2回消防水利の点検、維持管理を調査している。

Q 消防水利の整備、設置計画は。

A 平成27年度に消火栓1基、防火水槽1基を予定している。

総合開発

8月6日 現地視察

幸田駅前土地区画整理事業のBブロックの進捗状況と、駅前銀座の利用状況の現地視察をおこなった。

Q 建物移転状況は。

A 79件中68件が移転。86・1%。

Q 当初予定のビル建設はどうなったか。

A 地権者が協議中。

Q 町有地（公園）の面積と活用方法は。

A 1000㎡で、今後推進委員会、及び関係者にてワークショップをおこない有効な活用方法を検討。

Q 金融機関の開業は。

A Bブロックの関係者と協議中。

幸田駅前土地区画事業を視察



進捗状況を視察

防災対策

8月7日 協議会開催

愛知県東海地震・東南海地震・南海地震などの被害予測調査結果を協議。

Q 防災リーダー養成研修会の受講者は。

A 7月12日、中央公民館で実施。70人が受けた。

Q 愛知県の被害想定数値が発表されたが。

A 県全体の想定であり、町の想定は250mメッシュで想定している。

Q 防災と減災、急傾斜地対策などの関係部署との連携が重要だが。

A 減災では、耐震化を推進している。

Q 急傾斜地をマップ化したい。

A 県の被害想定は、南海トラフだ。内陸の直下型

南海トラフ地震
被害予測結果



防災リーダー養成研修会

Q 地震を想定したマップを。内陸型の直下型地震被害予測はしていない。

A 幸田中学校 防災備蓄倉庫設置

工期は7月9日から11月7日まで

Q 幸田中学校設置以降の計画は。

A 27年度南部中学校。28

Q 年度北部中学校を計画。食糧の備蓄が少ない。

A 40人分で3日分。スペースが狭いので消防署から補充する。

Q 医薬品の備蓄は必要なのか。援護体制は。

A 医薬品は、小学校の防災倉庫で備蓄している。救護は、健康課が対応する。

7月15・16日 静岡県中電浜岡原発、静岡県防災センター、長野県大鹿村中央構造線博物館を視察。
中電浜岡原子力発電所
3・11東日本大震災で東

運転停止中の
浜岡原発など視察



中央構造線博物館

京電力福島第一原発の爆発事故などで国の要請で運転を停止している。
東海地震の震源域にあり、活断層が真下を通っていると指摘されている。危うな地域に存立する浜岡原発。

長野県大鹿村 中央構造線博物館
日本で唯一の中央構造線の博物館。敷地の真下を通る「中央構造線」。
中央構造線という大断層は、日本列島が大陸から離れ日本列島が形成されるなかで巨大な断層になり研究がすすめられている。
中央構造線研究の学芸員の解説を受け、内陸地震発生の仕組みや備えなど、幸田町の防災を考え、学ぶことができる博物館である。

総合計画

8月8日協議会開催

町の将来像を決め、その実現に向け「6本の柱」から組み立てられた基本構想案を協議した。

Q 地域の声をどう反映するか。

A 多くの住民の声や議会など広く意見を聞く。

地域計画は、部門別課題として取り上げていく。

Q 各種団体との懇談会とは。

A 項目ごとに懇談の場を設定。

例えば「安全・安心」は、消防団や女性消防クラブなどと協議する。

Q 人口計画と4万2000人の根拠は。

A 国勢調査と人口問題研究所のデータに基づく。

基本構想（案） 示される



区画整理がすすむ六栗地区

Q 町民憲章と比較して、「スポーツ・青少年」と

いう言葉がないが。

Q A 検討する。産業振興の項目で「幸

田から・全国へ・世界へ」とは。

A 農産品や工業製品のさらなる振興を表現している。

読まれる 議会だよりめざす

議会広報



砂防会館で研修

第80回全国町村

議会広報研修会

7月10・11日、東京千代

田区砂防会館で開催された。

①わかりやすい表現・表記

②議会広報誌の編集。読ま

れる議会広報誌。

③写真の見方、考え方。

④議会広報クリニック。

など専門の講師による研修

を受けた。

文章の基本は、読者にわ

かってもらえることであり
文章を短く、目次、見出し
で、読まれる議会だよりと
なる。

写真は意思を持って撮り、
そして、動きのある人物を
入れて効果的に使い、読み
やすい紙面とする。

これからも読まれる議会
だよりをめざして編集に生
かしていきたい。